

**東京経済大学大学院**  
**経済学研究科 入学試験**  
**(2022年度 2期入試)**

課 程	博士後期課程
入試区分	一般入試
試験科目	外国語（日本語）
出題意図	外国語文献等を読解できる専門的語学（英語・日本語）能力に関して、修士号を取得した学生として十分な読解力を問う問題である。
解答例	<p>著作物の権利処理等の関係により本文を掲載していないため、解答例についても掲載しておりません。</p> <p>&lt;解答のポイント（採点基準）&gt;</p> <p>主に以下の点を評価対象とする。</p> <p>(1) 自らの関心に即して、設問の解答に必要な事柄を明確に認識できていること。</p> <p>(2) 設問に対する解答を、上記の認識に基づいて論理的・創造的に行えていること。</p> <p>(3) 上記の諸点を無理なく読み取れる解答であること。</p>

※ 公開している入試問題等について、私的利用以外の目的で複製・転載・転用することを一切禁じます。

2022年度東京経済大学大学院経済学研究科・博士後期課程  
一般入試2期（留学生）入学試験問題  
【外国語：日本語】  
（試験時間：90分）

2022年3月1日（火）実施  
東京経済大学大学院経済学研究科

---

※解答は別紙の解答用紙に記入すること。

次の文章を読んで、後の問いに答えなさい。

著作物の権利処理等の関係により、  
本文は掲載していません。

著作物の権利処理等の関係により、  
本文は掲載しておりません。

著作物の権利処理等の関係により、  
本文は掲載しておりません。

著作物の権利処理等の関係により、  
本文は掲載しておりません。

(吉川洋『高度成長—日本を変えた 6000 日』中公文庫, 2012 年を一部改変)。

問 1 この文章を 10 行程度で要約しなさい。

問 2 下線部の問いかけを踏まえ, (日本に限らず) 一国の経済成長を「進歩」と言い切るかどうかについて, あなたの考えを 10 行程度で述べなさい。その際, 予想される反論を挙げた上で, その反論を批判しなさい。